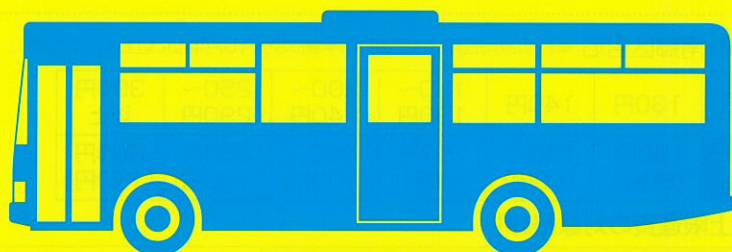


2011年 10月1日

バスの運賃が変わります!!

バスを使って
もっと便利に
さらに
お得に!!

環境に、健康にやさしい、新しいバス生活はじめよう!!



八戸市内のバス運賃が
1乗車あたり
上限 **300円**

八戸市中心街
一日フリー乗車券
まちバス300
八戸市中心部の指定区間を
一日何回でも乗り降り出来ます。
1枚 **300円**

50円刻み
初乗り150円

八戸市内のほとんどのバス運賃も
一部
路線を除き
初乗り **150円**
50円刻み

8市町村をつなぐバス運賃が
1乗車あたり
上限 **500円**

50円刻み
初乗り150円

乗継支援
企画乗車券
田子町・新郷村・八戸市
片道 **800円**

例えばこんなにお得に!!

通院 300円現金利用	買い物 300円現金利用	買い物 500円現金利用	通学 通学定期	映画 乗継企画乗車券
南郷区から 通院する Aさんの場合 現金払い 58% OFF!!	多賀台から 買い物に出かける Bさんの場合 現金払い 48% OFF!!	五戸町から 買い物に出かける Cさんの場合 現金払い 55% OFF!!	おいらせ町から 八戸西高校に通学する Dさんの場合 2ヶ月定期 24% OFF!!	田子町から 映画を観に行く Eさんの場合 乗継券 54% OFF!!
南郷区役所前	多賀台団地	五戸庁舎前	洗平	田子
↓	↓	↓	↓	↓
八戸中心街ターミナル1番(三日町)	ラピア	ラピアバスターミナル	八戸駅	三戸営業所(乗継)
現行運賃 710円	現行運賃 580円	現行運賃 1,120円	現行運賃 23,790円	現行運賃 1,750円
↓	↓	↓	↓	↓
改定運賃 300円	改定運賃 300円	改定運賃 500円	改定運賃 17,980円	改定運賃 800円

八戸圏域定住自立圏路線バス上限運賃化実証実験

八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町・南部バス(株)・十和田観光電鉄(株)・八戸市交通部

お問い合わせ先

【実証実験の内容に関すること】八戸市都市整備部都市政策課 TEL.0178-43-2111(内線)335・339

【対象路線・運賃・ダイヤ、定期券・回数券に関すること】●南部バス(株) TEL.0178-44-7111 ●十和田観光電鉄(株) TEL.0176-23-6103 ●八戸市交通部 TEL.0178-25-5141

10月1日バス運賃が変わります!! ~環境に、健康にやさしい、新しいバス生活はじめよう~

近年マイカーの普及や少子化などでバス離れが進んでいますが、路線バスは生活に身近な移動手段として重要です。また乗り合いの移動ということで環境にやさしく、バス移動+徒歩移動で健康にやさしいということで見直されている面もあります。八戸圏域の路線バスをより分かりやすく、より利用しやすくするため10月1日から「路線バス上限運賃化実証実験」を行います。新しくなる路線バスをぜひご利用ください。

実証実験で設定する運賃

定住自立圏8市町村をつなぐ基幹的路線(圏域路線)は、1乗車あたり初乗りが150円、150円以上の区間は50円刻みで、500円が上限となります。また、八戸市内の路線については、1乗車あたり初乗りが150円、150円以上の区間は50円刻みで、300円が上限となります。(※さらに、八戸圏域町村内の一部を除くほとんどの路線も1乗車あたり初乗り150円、50円刻みの運賃となります。)

8市町村をつなぐ路線は1乗車あたり

上限500円

【圏域路線】※()は小児運賃(改定運賃の半額になり、10円単位に切上げとなります)。

現行運賃	130円	140円	150~190円	200~240円	250~290円	300~340円	350~390円	400~440円	450~490円	500円以上
改定運賃	150円(80円)	150円(80円)	150円(80円)	200円(100円)	250円(130円)	300円(150円)	350円(180円)	400円(200円)	450円(230円)	500円(250円)

【500円上限運賃の対象路線】

南部バス(株)・十和田観光電鉄(株)	定住自立圏8市町村をつなぐ基幹的路線が対象となります。
--------------------	-----------------------------

八戸市内の路線は1乗車あたり

上限300円

【市内路線】南郷区含む※()は小児運賃(改定運賃の半額になり、10円単位に切上げとなります)。

現行運賃	130円	140円	150~190円	200~240円	250~290円	300円以上
改定運賃	150円(80円)	150円(80円)	150円(80円)	200円(100円)	250円(130円)	300円(150円)

【300円上限運賃の対象路線】

八戸市営バス・南部バス(株)・十和田観光電鉄(株)	100円ワンコインバス路線などの企画路線を除く全ての市内路線
---------------------------	--------------------------------

田子・新郷発着路線の乗継支援企画乗車券

田子町・新郷村から八戸圏域の中心市である八戸市までの直通路線がないため、2路線を乗り継いだ場合、片道1,000円かかります。このため乗継支援対策として、お得な企画乗車券を発行します。

乗継支援対象路線

田子・新郷発着路線(金ヶ沢線、西越線、田子線、田子高校線)と、これに接続する八戸市内にアクセスできる圏域路線とを乗り継ぐ場合、利用できます。

販売場所・販売期間

南部バスのバス回数券取扱所、または田子・新郷発着のバス車内にて販売します。1枚の乗車券で片道分の利用が可能です。

●料 金: 大人800円・小児400円
●販売期間: 平成23年10月~平成24年2月
●販売枚数: 3,000枚限定

八戸市中心街一日フリー乗車券 まちパス300

八戸市の中心街及び中心街近郊を指定区間内であれば1日何回でも乗り降りできるフリー乗車券を発行します。中心街を周遊しての買い物やちょっとした外出、ビジネスでの移動に便利です。(八戸市営バス・南部バス・十鉄バス共通券)

●料金: 大人300円・小児150円
●期間: 平成23年10月1日~平成24年9月30日

実証実験の期間 平成23年10月1日から概ね2年間を予定しています。

実験の効果測定 実験による効果を測定するため、乗降実態調査を行います。調査員がバスに搭乗する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

	定期券の取り扱い	回数券の取り扱い
	●現在お持ちの定期券は10月1日以降の分が運賃改定の対象となりますので、交換・払戻をします。 なお、値上げとなる区間の場合は、交換・払戻をせずに、そのまま適用期間中利用できます。	●現在お持ちの回数券は10月1日以降も券面額どおりで利用できますが、基本的に9月30日までに使い切るか、使い切れない場合は、差額の精算および交換をします。 ●お買い物回数券およびセット回数券(市営・南部)は、従来どおり利用できます。
交換・払戻について	【対象】通用期間が10月1日以降残っている定期券 【方法】現行の定期券金額と新運賃適用の定期券金額の差額を払い戻したうえで交換。 【手数料】無料。ただし上記以外の払戻については、払戻手数料を500円いただきます。 【受付期間】23年10月1日から定期券の通用期間内 【払戻の計算方法】 ※残日数は10月1日以降の残日数 現定期券金額 × 残日数適用期間 - 新定期券金額 × 残日数適用期間	●未使用回数券の場合 新券と交換したうえで、差額を払い戻します。 (例230円→200円に変更) 230円券と200円券(11枚綴り)を交換し、差額分を払い戻します。 2,300円-2,000円=300円(払戻額) ●一部使用済回数券の場合 通常の払戻処理を行い、差額を精算し、新券(1冊単位)と交換します。 払戻手数料は無料です。 ※未使用・一部使用済どちらも払戻のみの場合は、手数料を200円いただきます。
交換・払戻場所	●交換および払戻は、次の各窓口で受け付けます。 (市営)旭ヶ丘・大杉平営業所、チノ・ラピア・はっち各インフォメーション、はちのへ総合観光プラザ (南部)八戸営業所、ラピオトラベルカウンター、はっちインフォメーション、はちのへ総合観光プラザ、市ノ沢出札所 (十鉄)八戸営業所、百石案内所ほか ●ご不明な点などは、上記窓口および各事業者へお問い合わせいただくか、各事業者のホームページをご覧ください。	
取乗そのほかの扱い	【種類】 ●一日乗車券(市営・南部) ●八戸えんじょいカード(市営・南部) ●エコバスポートシリーズ(市営) ●お買い物回数券(市営・南部) ●キャン☆バス・フォー(市営・南部) ●セット回数券(市営・南部)	
	●販売金額に変更はありません。 ●従来通り利用できます。	払戻は発生しません